



「学校のイメージキャラクターって、いつからあるんだろう」。先日、取材で訪れた長崎県立松浦高校で、ふとそんなことを考えました。少なくとも私の高校時代には、そうした存在はなかったはずです。

松浦高校には「まつドリー」という、生徒たちに愛されているキャラクターがいます。驚いたのは、それがイラストの世界を飛び出し、3Dプリンターで見事な立体マスコットになっていたこと。生徒たちの「好き」や「面白い」という純粋な気持ちが、デジタルの力を借りて、触ることのできる「形」になる。その光景は、とても新鮮なものでした。私が子どもの頃の立体化と言えば、オープントースターで温めて縮める「プラバン」がせいぜいだったなあ……などと懐かしく思い出し、改めて時代の進化を実感しました。

想像したものを、もっと自由に、もっと確かに形にできる。そんな素敵な道具を手にした生徒たちが、これからどのような未来を創造していくのか。まぶしい気持ちになった取材でした。(守安)

VIEW next 公式アカウント

LINE@

友だち募集中!



『VIEW next』のLINEを友だち登録していただければ、本誌の発刊時や新コンテンツの公開時に通知が届き、ウェブサイト『VIEW next ONLINE』内の該当記事に、ダイレクトにアクセスできます。この機会にぜひ、友だち登録をお願いします!

[友だち登録の方法例]

- ・(方法①) 上の2次元コードを読み取る
- ・(方法②) LINEアプリの「友だち追加」>「ID検索」で「@view21」と入力して追加

VIEW next

高校版 2025年11月号

11月28日発刊
(予定)

Reader's VIEW

2025年7月号へのご意見

先生方からの
ご意見を
紹介します

生徒が自分で考える時間の重要性を実感

「中核的な概念」をテーマにした7月号の特集は、非常に勉強になった。課題整理の記事で、京都大学大学院の石井英真准教授が述べていた「生きて働く学力を育成するためには、問い合わせの距離を長くすることが重要」という考えに共感した。知識を「分かる」「使える」ようにするために、生徒が自分で考える時間を持つことが重要だ。考える力や想像する力を養うことは、新たな創造につながる。それは社会人になった時、非常に大切な力となるだろう。

愛媛県・私立松山聖陵高校 大谷修一

教師が複数で授業づくりをする体制が必要

7月号の特集の課題整理の図3では、「中核的な概念」をキーに考える授業のポイントが分かりやすくまとめられていた。特に「網羅的な授業からの脱却」は重要であり、意識していきたいと思った。ただ、生徒が自力で「中核的な概念」を獲得するためには、問い合わせの設定など、入念な授業づくりが求められる。生徒が協働的な学びをするように、教師も複数で授業づくりをする体制が必要だ。まずは自分の授業を他の教師に見てもうことから始めたい。

静岡県・静岡市立清水桜が丘高校 橋田範文

特集の事例記事を参考に、自分の授業を進化させたい

担当する国語の授業では、様々な文章に活用できる読み方を指導しているが、7月号の特集の実践事例1「国語の記事」で、青森県立青森中央高校の笠井敦司先生は、「読むこと」だけでなく「書くこと」にも応用できる「中核的な概念」を指導されていた。自分の指導の未熟さに気づくとともに、「中核的な概念」の具体とその指導法を学べた。自分の授業に取り入れ、指導をよりアップデートしていきたい。

千葉県 匿名希望

困っている生徒の声を社会に伝え続ける

7月号の「先生なら、どうしますか?」で宮崎県立延岡星雲高校の柳井健二先生の記事を読み、学級担任が家庭の状況をどこまで理解すべきかは難しい問題だと改めて考えさせられた。家庭の問題は一担任だけでは解決できないものばかりで、社会全体で取り組む必要がある。その中で、社会に向けて生徒の叫びを伝えていくことは、教師の使命だと思う。一人ひとりの力は小さくとも、団結し、粘り強く伝えることで、社会改革につながるものと信じている。

宮城県・私立東北生活文化大学高校 須藤由子

「対話的な学び」における教師のあり方に共感

7月号の「主体的・対話的で深い学び 授業実践」(化学)の記事で、茨城県・私立土浦日本大学高校の星野恵美子先生が、「対話的な学び」のあり方として、「私との対話を通じて」という教師のあるべき姿を明確にしている点に共感した。特に学力的な課題を抱える学校では、記事にあった「疑問を解消する面白さを感じる」とことや、「根拠を持って論理的に述べる」ことを生徒が学ぶのは、生徒同士の対話からだけでは難しく、教師主導で思考を促した方がよいと考える。また、成果として「化学での学びを他教科での学びに生かす」ことができているのは、まさにコンピテンシー・ベースの教科横断的な取り組みだと感じた。

北海道滝川西高校 三井智和